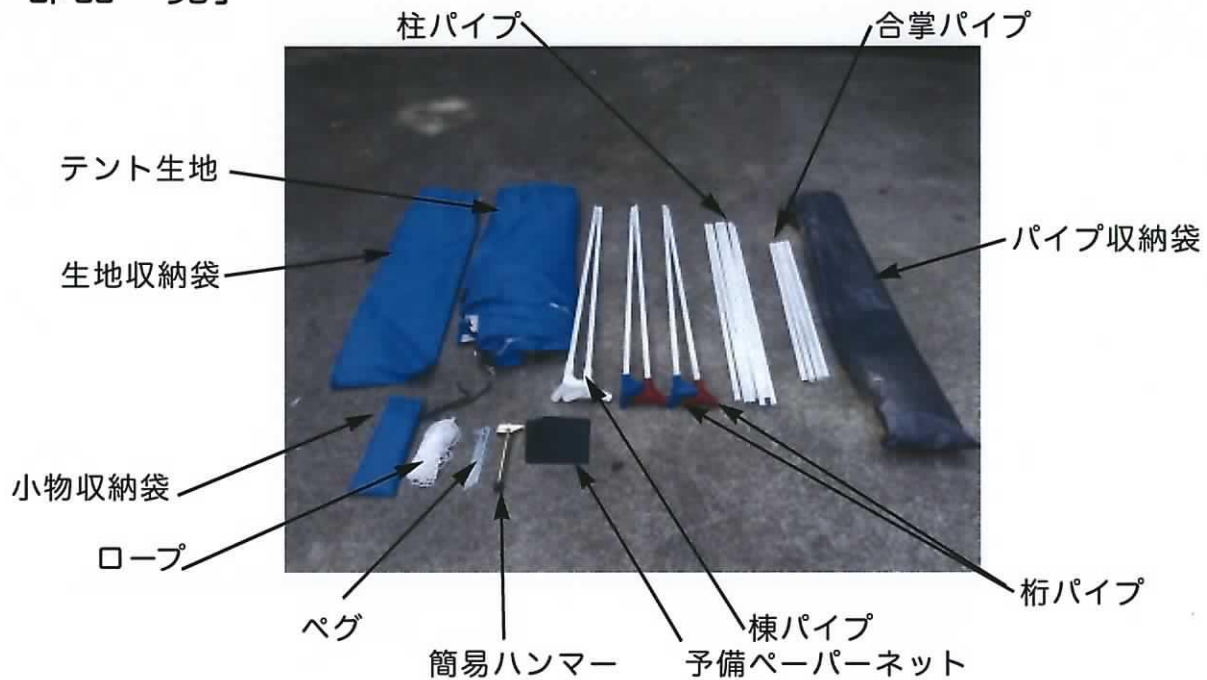


イーストアイ パーソナルテント (PTAL) の組み立て手順

「部品一覧」



フレーム組み立て

1. 屋根部分を準備します。



棟パイプ (頂上部分)
(白コネクター付)



桁パイプ (軒部分) (青、赤コネクター付)
(コネクターにGABLE・LEGの文字)



連結されている棟パイプ・
軒パイプをひろげます。



棟パイプを中央に置き、両脇に桁パイプを
置きます。桁パイプコネクターのGABLE
側が棟パイプを (頂上) 向くようにしてく
ださい。

2.合掌パイプを差し込み、屋根の骨組みを完成させます。

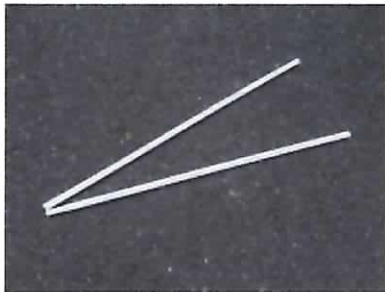


棟パイプコネクターと桁パイプコネクターの（GABLE）を合掌パイプでつなげます。

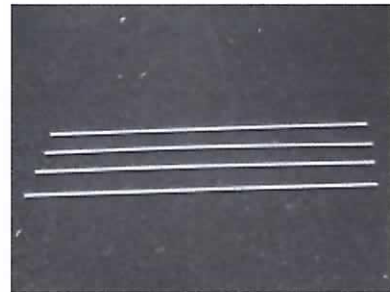


骨組み完成。

3.柱パイプを連結させ、つなげます。



折りたたまれている連結部分をしっかりと開いて差し込みます。



連結完了。

4.柱パイプをコネクターに差し込み、骨組み全体を完成させます。



コネクターLEGに柱パイプを差し込みます。



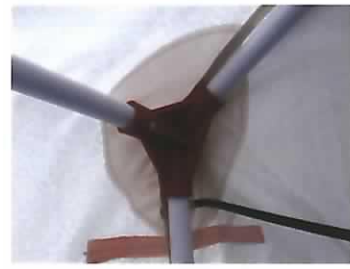
桁パイプの組み立てがしにくい場合は先に片方を差し込みます。



骨組み完成。

テント生地の取付

5.生地をかぶせ、整えます。



ファスナーを開いて生地をかぶせ、コネクターがあて布にしっかりとあたるように調整します。

6.生地四隅の金属棒をパイプに差し込みます。



①黒いループごと金具のついている部分を生地の上からしっかりとぎります。



②そのまま金具がパイプに入りやすいところまで生地を引き下げ、1ヶ所ずつ順番に先端の金具(ピン)を折り返すようにパイプに差し込みます。



③金具を差し込む際は、ループの部分がねじれないようにしてください。
※ねじれて差し込んでしまうと正しく組立ができません。

7.生地内側の面ファスナーをパイプに巻き付けて完成。



柱パイプ、桁パイプにある面ファスナーをパイプに巻き付け組み立て終了です。
入り口や換気窓のファスナーの動作を確認してください。

補足



締め切り



半開放



全開放

○テント固定用に屋根側にはロープ用ループ4ヶ所、床側にはペグ打ち込み用及び重し固定用のループが7ヶ所あります。

- ・屋根側ループ
風対策用にロープを結んで固定ができます。



- ・地面側ループ
ペグの打ち込みや土のうや砂袋での固定の際に使用します。



付属のロープで固定ができない場所では、軒先ループからロープを張り、ウエイト（土のうや砂袋等）に結び付けて固定します。

※写真は折りたたみ給水容器（ホールドキャリア10ℓ）の使用例。

NEW !

○入口ジッパー仕様変更について

使用中に誤って開けられるのを防ぐために、ジッパーのストラップをテント内側に収納することで、テント外側から見えない構造になりました。

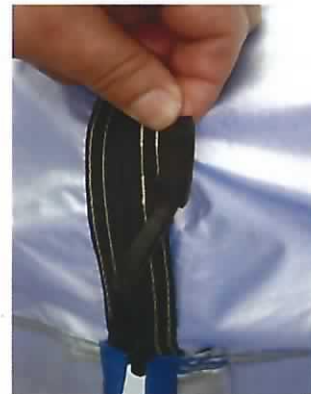


・入口ジッパー(従来)



・入口ジッパー(新タイプ)

入口ジッパー収納方法



テント内側よりストラップを持ち、生地についている面ファスナーと合わせ貼り付けます。しっかりと面ファスナーを貼り付けることで、テント外側からストラップが見えなくなります。

○予備ペーパーネットについて



曲げパイプに取り付けることで予備ペーパーをテント内にストックすることができます。

PTAL仕様

本体サイズ：W260×D185×H207cm 入口サイズ：207×170cm 重量：7.5kg

前面ジッパー開閉式で半開放、全開放可能。「使用中」表示窓、換気用メッシュ窓、床固定ループ、強風ループ、小物入れ付き。

付属品：ロープ4本、スチールベグ7本、簡易ハンマー1本、予備ペーパー用ネット

材質：テント生地/ (上部) ポリエステル150D・PU防水加工 耐水圧：3000mm

(サバ) ポリエステル150D・シルバーコーティング加工 耐水圧:1500mm

フレーム：スチール